

目的

福祉、ハンディ、ボランティア活動の理解や関心をもってもらうこと、挑戦することの楽しさなど、思いやりや優しさの心を育み、地域社会への参加推進を目的とした当事者体験を学校等に啓蒙する活動を行っています。

内容

- 佐々木清美会員の講話、DVDの視聴
(車椅子を使用しての体験はご相談に応じます。)
- 視覚障害者の方の講話(視覚障害の現状や体験)
*アイマスクを使用しての歩行体験
*サウンド・テーブルテニスの競技体験

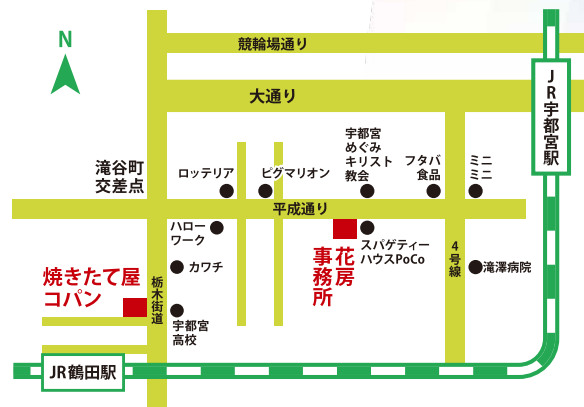


活動実施場所は、栃木県内の学校・各種団体になります。
ご希望の方は、問い合わせ先にご連絡下さい。
ご連絡をお待ちしております。

問合せ先


認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ 法人運営部
〒320-0827 宇都宮市花房2-8-6
TEL&FAX : 028-611-3991
メールアドレス: info@npocc.org
ホームページ : http://npocc.org
※申込書はホームページからダウンロードできます。

事務所案内図



福祉理解促進事業 キャラバン隊 活動内容



 認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ
チャレンジドとは、障がいや難病があって、生まれながらに挑戦するように運命づけられた人たちを意味します。
私たちは彼らを応援しています。

訪問した学校の生徒さんより、お手紙をいただきました。ありがとうございます。

一部抜粋して掲載させていただきました。



車いすに乗っている人をあまり見たことが無く、自分には関係ないことだと思いこんでいました。でも、私も事故やケガで車いすに乗る可能性もあることに気付きました。

小学5年生・女子

わたしのまわりには、いろいろなハンディをもった人がいることがわかりました。みんなにやさしい人になりたいです。

小学1年生・女子

身近でできるボランティアを初めて知りました。大人になるまでを見守るということもやさしさの1つと聞いたときとてもびっくりしました。

小学4年生・男子

これから何があっても前向きに生きて行きたいと思いました。

中学2年生・男子

自分に手伝えること、出来ることがあれば、ボランティアなどをがんばりたいと思います。

中学2年生・女子

ボランティアについては、規模によっては今すぐ出来ることもあると分かったので、やってみようと思いました。

小学5年生・男子

お話を聞いて、福祉はすべての人がしあわせな生活をおくれることなんだと分かりました。ハンディをもっていても明るく元気に車いすでスポーツをしているのはすてきだなと思いました。

小学6年生・女子

自分の過去のことに向き合いながら話している姿はかっこよかったです。過去の後悔に向き合いながら、まっすぐに進む佐々木さんを見習い生活していきたいです。

中学1年生・男子

丁寧に優しく先生がおしえてくださったので、とてもわかりやすかったです。「福祉」のこと、「車いす」のことをよく知ることができました。

中学3年生・女子

だれにも福祉が必要であり、だれにもハンディがあると知ることができました。今日の体験を生かし、ハンディを無くしていきたいです。

小学6年生・男子

『ふくし』と言う言葉をはじめて知りました。ふくしとは、しょうがい者だけでなく、すべての人が、かかわっていることを知りました。

小学3年生・女子

先生の体験をもとに話してくださったのでとても分かりやすかったです。

中学3年生・男子

がんばってたくさん練習すれば、みんなと同じように上手に楽しくできることがわかりました。私も今できることをせいっぱいがんばろうと思います。

中学1年生・女子

◆チャレンジドとは？

「障がいを持つ人」を表す新しい米語「the challenged (挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスや資格を与えられた人)」